

(一社) 大阪金属プレス工業会 ベトナム・ハノイ周辺工場視察ツアー報告書

日 時：2016年 3月 2日 ～ 3月 5日

参加メンバー：(敬称略)

団 長	プレテック株式会社	代表取締役	多田修
委 員 長	株式会社ハヤシ	代表取締役	林秀昭
メ ン ー	朝田金属工業株式会社	代表取締役	朝田武志
(50音順)	朝田金属工業株式会社	製造技術課長	阿部義治
	大阪美錠工業株式会社	営業部主任	齊藤雅史
	藤原金属株式会社	取締役製造部長兼営業部長	盛博文
	三谷金属株式会社	取締役社長	片山欣弥
	明星九州株式会社	製造部プレス課兼業務課課長	上田陽介

～時系列経過報告～

3月2日

日本時間

AM08:30 関西国際空港集合

PM10:30 ベトナム航空VN331便にて出発

現地時間(時差2時間)

PM02:00 ベトナム・ハノイ・ノイバイ国際空港到着

PM02:30 旅行会社のバスにてジェットロ・ハノイ事務所へ移動(約1時間)

PM03:30 ジェットロ・ハノイ事務所に着

PM04:00 ジェットロ・ハノイ事務所訪問

1) ジェットロ・ハノイ事務所

場所：ハノイ市内(ノイバイ国際空港から約1時間)

面談：海外投資・経済連携促進アドバイザー 細野次郎氏(住友金属出身)

ベトナムの概況説明：

- ・人口は約9千万人(日本の約4分の3)90%がキン族
- ・国民の80%が仏教徒である。治安は概ね良い。
- ・国土は約33万2000km²(日本の約0.9倍)
- ・政治の中心はハノイ、経済の中心はホーチミンシティに集中している。
- ・政治は社会主義共和制
- ・4輪車 年間 トヨタ 3万台、ホンダ 5万台
- ・4輪用のプレス工場はほとんど無い。
- ・2輪車が主体。産業は2輪が中心で、プレス機は小型が多い。
- ・ホンダ 200万台、ヤマハ 100万台
- ・その他は、プリンター分野でキャノン、京セラ等チャイナプラスワンで中国から
- ・スマートホン市場はサムソンが一人勝ち
- ・輸入部品が90%。ベトナムでは組立主体、労働集約型産業が多い。
- ・市場での購買品の7割が偽物

写真：ジェトロ・ハノイ事務所にて



PM07:00 ハノイ市内レストランにて遅ればせながら結団式

3月3日

AM08:30 KYOEI MANUFACTURING VIENAM CO.,LTD. 訪問

2) KYOEI MANUFACTURING VIENAM CO.,LTD.

場所: Noi Bai Industrial Zone ハノイ市、ノイバイ空港の近く

面談: 山田益也 氏 (Deputy General Director)

会社概況:

- ・日系子会社、親会社は静岡県「株式会社 協栄製作所」
- ・2003年会社設立2004年操業開始、資本金500万ドル
- ・従業員数: 1120名 (日本人は6名) 初任給が約20000円、定着率80%
- ・土地面積: 第1工場 10000㎡に3棟、第2工場 5000㎡に2棟
- ・取引先: ヤマハ、トヨタ、MBK、ブリジストン他
- ・製品: 2輪車のフレームがメイン、カチオン塗装まで可能
- ・売上は2600~2700万ドル、国内販売が70%、輸出が30%
- ・保有プレス機械37台 (60~300トン)
- ・金型は年間200面程度、自社で設計して外注に部品発注、社内で組立
- ・金型メンテは自社で可能
- ・プレス単価は1.60円/パンチ
- ・社員教育がしっかりしている。新任から1週間座学 (安全教育) ~OJT
- ・グループ毎にしっかりしたリーダーがいる。

写真: KYOEI MANUFACTURING VIENAM CO.,LTD. にて





3月3日

AM10:30 MINH QUANG INDUSTRIAL AND TRADE CO.,LTD. 訪問

3) MINH QUANG INDUSTRIAL AND TRADE CO.,LTD.

場所：Dong Anh town (Thang Long Industrial Zoneから20分、空港から15分)

面談：Mr.LE MINH GIANG (General Director)

Mr.PHAM VAN CHIEN (Production Director)

Mr.NGUYEN DUC THU (Purchasing Manager)

Mr. OGAWA TAKANORI (Technical Advisor)

会社概況：

- ・ 現地ローカル企業
- ・ 2004年会社設立、資本金150万USドル
- ・ 従業員数：140名（2シフト）
- ・ 土地面積：7800㎡、建屋3800㎡
- ・ 取引先：SHOWA、KYB、ホンダ
- ・ 製品：2輪車用部品
- ・ 売上：240万USドル（100%日本企業との取引）
- ・ 保有プレス機：6台（油圧プレス機3台、シャフトプレス機3台）
- ・ 管理方式が日本式、5S活動、改善提案制度・・・5S委員会で活動推進
- ・ 社長が毎日5Sパトロールを実施、定期的にSHOWAの監査がある。

写真：MINH QUANG INDUSTRIAL AND TRADE CO., LTD. にて



3月3日

PM02:30 CHIYODA VIETNAM CO.,LTD. 訪問

4) CHIYODA VIETNAM CO.,LTD. (CVC)

Vietnam Precision Mechanical Service & Trading Co.,Ltd. (VPMS)

場所：Dong Tho Industrial Zone (ハノイから40km、ノイバイ空港から25km)

面談：佐々木孝明 氏 (CVC Factory Manager)

Mr.NGUYEN XUAN HUY (VPMS Director)

会社概況：

CVC

- ・日系100%外資企業、親会社は愛知県「チヨダ工業株式会社」
- ・2006年会社設立、資本金10万USドル
- ・従業員数：18名（日本人は1名）
- ・金型設計～製作、MC、フライス盤等を保有
- ・日本の親会社向けの生産がメイン、日本・タイ・ベトナムで連携して操業

VPMS

- ・現地ローカル企業
- ・2006年会社設立、資本金100億ベトナムドン
- ・2011年からCVCと協力してプレス工場を開始
- ・2015年からCVCと一緒に当地へ移設した。
- ・プレス加工、樹脂成形、プレス機は3台

写真：CHIYODA VIETNAM CO.,LTD.にて





3月4日

AM09:00 MANH QUANG MECHANICS CO.,LTD. 訪問

5) MANH QUANG MECHANICS CO.,LTD.

場所：ハノイ市内

面談：Mr. NGUYEN MANH QUANG (Chief Production Officer)

Mr. HA SI THANH (Vice President)

会社概況：

- ・現地ローカル企業
- ・1983年会社設立
- ・従業員数：？名
- ・保有プレス機は25～800トンを50台
- ・金型から製品までを自社で完結
- ・製品：ギヤ、ホイール等2輪車用部品をファインブランキングや冷間鍛造
- ・本日から工場見学が禁止になったとのことで。理由の説明無し
- ・ビデオを見て、トイレを借り、30分で次の見学先へ移動した。



3月4日

AM10:00 3A MECHANIC CO.,LTD. 訪問

6) 3A MECHANIC CO.,LTD.

DAI DUONG CO.,LTD.

場所：ハノイ市内

面談：Mr. VU DINH TUYEN (3A)

Mr. NGUYEN BAO SOI (DAI DUONG)

会社概況：

- ・現地ローカル企業
- ・1997年会社設立
- ・従業員数：100名
- ・切削加工～歯切り加工がメイン、プレスは近くにある外注先のみ
- ・設備はソ連、日本、中国の中古機を自社でカスタマイズして使用している。
- ・製品は、農業用ポンプ、水利工事、発電所、鉱山等プラント系の事業
- ・トラック用の部品で、ギヤボックス、歯車等も製造している。
- ・国内向けの出荷がメイン70%、韓国向けの出荷が30%
- ・初任給は、ワーカーで400万ドン、技術者で700万ドン
- ・ワーカーの安全意識は低い。安全のための掲示物が1枚だけあった。
- ・測定器を持っていない。品質保証はゲージ管理のみ

写真：3A MECHANIC CO.,LTD. にて
DAI DUONG CO.,LTD.



3月4日

PM01:30 THANG LONG METAL WARES JOINT STOK CO.,LTD. 訪問

7) THANG LONG METAL WARES JOINT STOK CO.,LTD.

場所：ハノイ市内

面談：Mr.PHAN HUU HUNG (Chairman)

Mr.PHAN HONG THANH (General Manager)

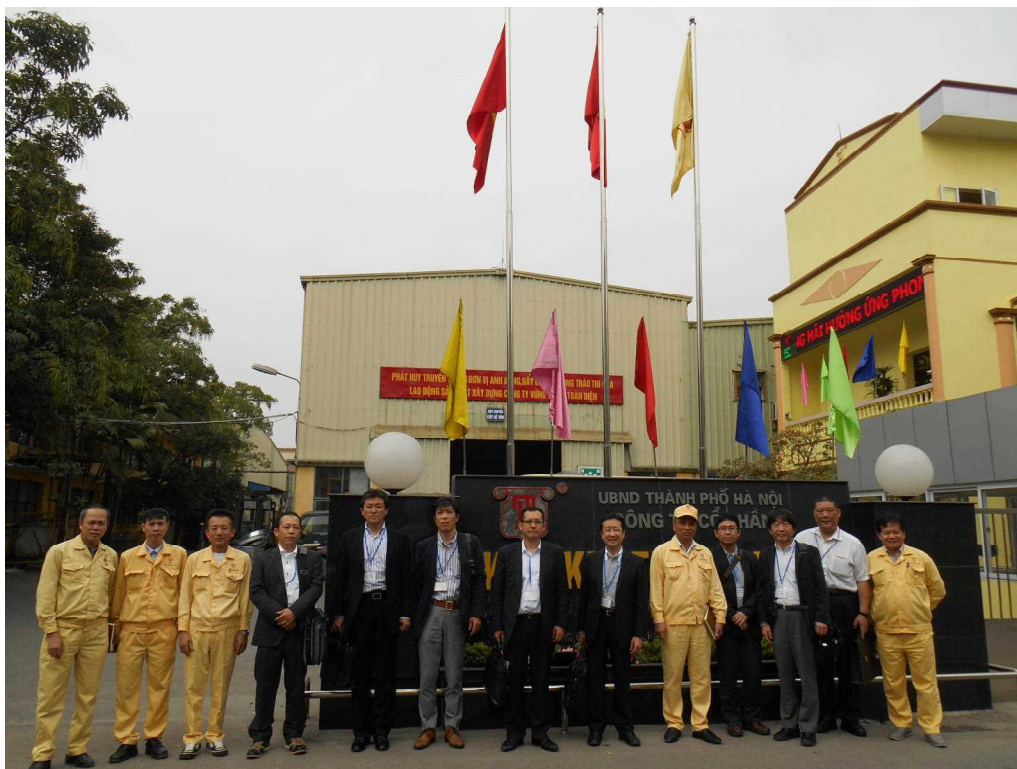
Mr.LE CHI LIEN (Vice General Manager)

Mr.KODAMA HIROSHI (Factory Director)

会社概況：

- ・ベトナム国営企業、日本企業と合弁会社を設立して同じ敷地内で操業している。
- ・1969年会社設立、2004年国有化
- ・金型設計・加工・金属部品加工で、国内外に販売
- ・主要取引先：ベトナムホンダ
- ・第1工場： 20500㎡ 600名 主にIKEA向け製品加工
- ・第2工場： 10000㎡ 200名 金型、設備加工（社内使用）
- ・第3工場： 25000㎡ 200名 ホンダ向け2輪車用部品 売上US\$200万/月
- ・第6工場： 8000㎡ 200名 国内販売部品加工
- ・第5工場： 40000㎡ 250名 ホーチミンシティ、リクシルと取引
- ・グループ全体で2100名（スタッフ420名、ワーカー1680名）
- ・2015年の売上は4500万USドル、材料比率約60%、加工比率約20%
- ・初任給は、ワーカーで500万ドン、技術者で700万ドン
- ・技術者は、定期的に「腕前試験」により1級～4級でランク付け付加給有り
- ・改善提案制度を実施している。毎年評価して昇級の評価基準にしている。
- ・スタッフとワーカーとの壁をなくすために、制服を黄色に統一した。
- ・黄色は、風水において龍（黄龍）の色、Thang LongのLongは龍を意味する。

写真：THANG LONG METAL WARES JOINT STOK CO.,LTD.にて





3月4日
PM04:00 ホーチミン廟～ハノイ旧市街視察

写真：ホーチミン廟にて



PM07:00 ハノイ市内レストランで解団式

PM09:00 ベトナム・ハノイ・ノイバイ国際空港到着

写真：ベトナム・ハノイ・ノイバイ国際空港にて



3月5日

AM00:30 ベトナム航空VN330便にて日本へ向けて出発

日本時間

3月5日

AM06:50 日本国関西国際空港へ到着

各自で預け手荷物を受け取り後、解散～帰宅

以上

2016年3月9日
プレテック(株) 多田 修

大阪金属プレス工業会 ベトナム現地視察ミッションレポート

大阪金属プレス工業会主催の2回目の海外研修となる今回は、(株)事業革新パートナーズ様に企画を委託しJETROと6社(日系2社、ローカル4社)を訪問しました。訪問順に感想を記しておきたいと思います。

①JETRO (ジェトロ) 海外投資/経済連携促進アドバイザー細野氏から日本企業の投資動向についてお話を聞いた。

リーマンショック後一気に落ち込んだものの2013年には認可件数が500件を超え第3次投資ブームを迎えているという。もともと労務費以外は何でも高く現地調達率が低い中でメリットを出せるのは人件費部分のみということで、今までは輸出加工型製造業が多かったが、2013年頃からそれらの進出が減少し代わりにサービス産業など内需型が増加している。

日本ではチャイナプラスワンと目されているベトナムだが、中国の膨大な内需の魅力とベトナムでのサプライチェーン構築に時間とコストがかかることから、中国を捨ててベトナムへ移るという動きは意外と少なく日本でのマスコミ報道とのギャップを感じた。

ベトナムという国の一番大きな問題は共産党一党独裁政治ゆえの「不透明な社会経済制度」で日本企業にとっては内需マーケットへのアクセスが非常に難しいと言う。分かりやすく言えば、何をするにしても何を動かすにしても必ずそこには「賄賂」が必要であるということ。この問題がはびこる限り日本企業がもろ手を挙げて進出するのはリスクが余りにも大きく慎重にならざるを得ないと感じる。

今回訪問して非常に親近感を持ったベトナムだが、現時点では進出するという選択肢は無いに等しいと思う。しかし前述の問題は長い時間がかかるだろうがいずれ解消されていくと思うので、「じっくり・しっかり」と今後の成長を見守りたい。

②KYOEI MANUFACTURING VIETNAM

浜松の協栄製作所の100%子会社でヤマハ向け2輪のフレームやサスペンションアームなどを製造している。従業員は約1,000人で大きな工場だった。

まず工場を見学して驚いたのが従業員の動き。皆がキビキビと働きピリッとした緊張感が漂っていた。特に驚いたのが金型メンテの職場で、どちらかという自分のペースで出来る仕事なので我社でもキビキビ感とは程遠いが、それが何と10名ほど全員がテキパキと仕事をこなしていた。

後で山田工場長に話を聞くと、各職場のリーダーをしっかりと教育しそのリーダー達が自職場の全員を監視し指導しているとの事。決してスパルタではなく、何のために仕事をするのかなど「仕事観」を教育し従業員のモチベーションを上げることがキビキビ感に繋がっていると聞き大きく感心した。

2003年の立ち上げ当初から13年間に渡る山田工場長の努力の賜物を見た気がした。今後も頑張っていたきたいと心から思った。

③MINH QUANG INDUSTRIAL AND TRADE

ショーワやカヤバをメインに切削、鍛造、プレスのローカル企業だが、ヤマハ出身の小川様という日本人技術者がおられた。社長はお見受けしたところまだ若く、ショーワ・ベトナムにおられ2004年に独立起業されたいらしい。

技術レベル、管理レベル共に日本と同程度で非常にきれいな工場であった。5S活動も含めて様々な活動が掲示され、日本人の小川様と得意先であるショーワの指導によるものと感じたと同時に、日本並みの管理レベルに大いに感心した。

④CHIYODA VIETNAM

VPMS (VIETNAM PRECISION MECHANICAL, SERVICE & TRADING)

チヨダ・ベトナムはトヨタ紡織、アイシン精機、トヨタ車体などがメインの愛知のチヨダ工業の子会社で地元では非常に有名な金型メーカー。2006年に設立。

同じ敷地内にはVPMSがあり、こちらはプラスチック及びダイカスト金型の製作がメインで2011年からチヨダと協力してプレス生産及びプレス金型も始めた。

まだお若い社長の NGUYEN XUAN HUY (グエン・スアン・フィー) さんはハノイでは企業家として有名らしく将来が期待されている人物であるとのこと。

チヨダ・ベトナムさんの金型は設計は日本で行われているそうだが、現在日本に技術者を送り込み設計の勉強中で近い将来ベトナムで設計が出来るようにしたいと佐々木工場長は言っておられた。当社のインドネシア法人も今全く同じ動きをしておりこの話には非常に共感を覚えた。

ここで作られた金型は日本やタイにも供給されており、内需は少なく逆に輸出の方が多いたのことで、当社もその方向を目指していきたいと感じた。

⑤MANH QUANG MECHANICS

2輪向けの歯車、ギア部品がメインのローカル企業でファインブランキング等技術力の高い企業であると感じたが、これはあくまで最初のプレゼンでの話。

理由は定かではないが、社長曰く会長の指示による社内ルールの変更により工場を見せることが出来ないといきなりの工場見学拒否。あり得ない出来事に呆然としたがこれも海外であると痛感。やはり社会主義国とはこういうものなのか・・・。

⑥3A MECHANIC

水利（農業プラント）工事、発電所、鉱山などで使われる馬鹿でかい歯車等を製造しているローカル企業を見学した。旧ソ連製の超大型の旋盤やフライス盤と30年以上前の日本製の工作機械があった。工場は5S以前の問題で非常に汚く、安全面や作業者の働く姿勢などまるで30年前に見た中国そのものという感じであった。

当初、機械部品加工や金型設計製作をやっている工場と聞いていたが、今回訪問した工場は同じグループ？のDAI DUONGという会社であることがわかった。バスで移動中に住所が変わったと言われこの工場に来たが、またしても社会主義国にやられたか……。理由は良く分からないが日本人のいない会社は余程我々に工場を見られたくないのか、平気で約束を破るようである。

⑦THANG LONG METAL WARES JOINT STOCK COMPANY

最後の訪問先は二輪向け、IKEA向け、LIXIL向けなど幅広く商品展開している従業員2,000人超のハノイではTOP10に入る巨大なプレスメーカー。日本の合資技研と合弁で別会社を持っておられることもあって、ここにも合資技研出身の児玉様という日本人がおられ、3つに分かれるプレス工場の工場長をしておられた。

合資技研直々の指導により技術面、管理面共に素晴らしく、また作業者もとてもキビキビと動き挨拶もしっかり出来ており児玉様の指導の賜物と感じた。従業員の平均年齢は32歳ととても若く、技術者の定着率も95%と高いことから教育の熱心さと平日頃からモチベーションの向上を考えられておられるようであった。

まとめとして、やはり日系企業及び日本人のおられる企業は技術面・管理面共にしっかりしておられ、JETROさんから聞いた「不安定な社会経済制度」の問題に向き合って少しでも改善しようと努力をされていた。

一方、日本人が一人もいない完全ローカル企業は「自分だけ良かったら」の感覚が抜け切れていないようで、そういった価値観がある限りこの国の発展にはまだまだ時間がかかると感じた。

最後に、今回訪問先をコーディネートしていただいた(株)事業革新パートナーズ様には多大な感謝を申し上げたい。完全ローカル2社を除けば我々が見たかった企業を見事に選定していただき私としては100点満点の評価をしたい。また完全ローカル企業の2社に関してもまさかの展開であったが、これも何が起こるか分からない海外を象徴する出来事であり、海外を知るという意味において大いに勉強になったと感じている。

昨年のインドネシアに続き今回も団長を仰せつかったが、参加者全員が体調も崩すことなく無事帰国し3日間の視察ミッションを大過なく無事終えることが出来たことに際し参加者の皆さまに感謝申し上げます。ありがとうございました。

平成 28 年 3 月 18 日

(一社) 大阪金属プレス工業会 ベトナム視察ミッション 報告書

株式会社ハヤシ
代表取締役 林 秀昭

3月2日(水)

① ジェトロ・ハノイ事務所

細野次郎様面会

ジェトロの社員としては、稀見る気さくで、包み隠さずモノを言われる、素晴らしい方からのベトナム事情の説明でした。

ベトナムを訪れると、人や経済が活発で、一見自由主義国家とってしまいましたが、細野様の説明をお聞きしていると、「そうだ社会主義国家だなんだ」受取直しました。賄賂やアンダーテーブルが潤滑材となっている経済、企業の国家支配、また共産党員の一人儲け、資格などなんでもお金で買えるなど、様々な問題点や矛盾を理解する事が出来ました。

テレビや新聞そして業界誌では、今後の製造業においては、チャイナプラスワンという事でベトナムが取り出されていますが、実際に中小企業が進出するとなると、十分な調査と準備、そして慎重な対応が必要であると理解出来ました。

その反面、9000 万人という人口の多さ、平均年齢 27 歳という低さ、治安の良さ、勤勉な人種、というベースが存在するので、今後の経済発展は間違いないと知らされました。

製造業ビジネスのグローバル化が益々進化する中で、今回のジェトロ・ハノイ事務所細野様のお話しは、自社の経営においても大変参考になるものでした。

② 結団式

中華料理を食べながら、和やかな雰囲気の中で結団式が行なわれ、翌日からの工場見学の期待感へと繋がる場となりました。

3月3日(木)

③ KYOEI MANUFACTURING VIENAM CO.,LTD

山田副社長と面談

2 年前にも訪問した事があり、親しみを感じる工場見学でした。

進出後 10 年以上経ち、品質管理や人事管理もしっかり出来ている様子でした。

それにしても、ワーカールの初任給が 2 万円、官僚の給料が 4 万円、総理大臣の給料

が 8 万円という話には、ビックリ。ここでも賄賂・アンダーテーブルが、経済の潤滑材になっている事を実感しました。

④ MINH QUANG INDUSTRIAL AND TRADE CO.,LTD

小川氏と面談

この会社のユーザーが日系企業ということもあり、品質管理や原価低減、そして生産性向上がしっかり出来ていると感じました。

日本人スタッフの小川氏も、しっかり経営をされておりました。

やはり、ヤル気で海外に出向される方と、行かされている感たっぷりで現地の仕事をこなしている方では、現地の工場の 5 S を始めとする成果が随分違うと感じました。それは、ローカルのスタッフも感じていることでしょう。

⑤ CHIYODA VIETNAM CO.,LTD

佐々木工場長と面談

弊社の名古屋営業所のお客様である事が、訪問して発覚。しかも、佐々木工場長とは以前から面識あり。

日本製の工作機械を使い、高品質な加工品を製造されておられました。

出来上がった製品は、日本の本社工場やタイの工場へ供給されています。

日本での人手不足や人件費高を補う、またタイでの低品質を補うという仕組みは、素晴らしく思うと同時に、大変参考になりました。

3月4日（金）

⑥ MANH QUANG MECHAICS CO.,LTD

工場見学不可の為、感想なし。

⑦ 3A MECHNIC CO.,LTD

大型機械加工業です。ここでも社会主義国家であることを実感。なぜならば、古い機械が、ソ連製・ブルガリア製でした。

⑧ THANG LONG METAL WARES JOINT STOK CO.,LTD

ローカルの国有企業である、プレス加工業・金型製造業。

丁寧な対応をして頂きました。日本の仕事を多くしていきたいとの意欲をととも感じました。品質管理や生産性向上において、かなり徹底して取組んでいる様子が覗えました。（社長がベンツの高級車に乗っている事に、ここでも賄賂やバックマージンを多発している事を実感。）

⑨ 市内観光

ほんの短い時間ではありましたが、ホーチミン氏の偉大さを感じる観光となりました。
国民からの熱烈な尊敬。

まとめ

今回で、(一社)大阪金属プレス工業会 海外工場見学は 2 回目。昨年はインドネシア、そして今年はベトナム。多田団長の緻密な企画と、そしてプレス工業会として主催する以上学びに徹するという考え方に、とても共感するとともに感謝しております。

そのような事もあり、参加者は 9 名。そしてなにより内 4 名の方が社員の方々という、とても嬉しい海外視察となりました。

大阪金属プレス工業会の活性化の一助になっていることに、確信をもてました。

来年度も海外工場見学を実施し、工業会社員の方を含め、より多くの方に海外事情を肌で感じていただく機会をつくっていきたいと思っております。

そして、大阪金属プレス工業会が更なる発展をする、一助を担っていくようにしたいと考えております。

最後に、参加していただいた方に、心より感謝申し上げます。

ベトナム現地視察 報告書

2016年3月 (一社) 大阪金属プレス工業会主催

視察拠点・・・ベトナム・ハノイ

視察企業

- ・ ジェトロ、ベトナム投資環境説明会
- ・ KYOEI MANUFACTURING VIETNAM CO.,LTD
- ・ MINH QUANG TRADING & INDUSTRIES
COMPANY LIMITED
- ・ CHIYODA VIETNAM CO.LTD
- ・ Manh Quang Company Limited
- ・ 3A MECHANICAL COMPANY LIMITED
- ・ Thang long metal wares JSC

1. ベトナム視察の目的

ベトナムマーケット市場調査及び、大阪プレス工業会のベトナムでの
ビジネス展開検討視察。

日系又はローカルのプレス製造業の現況視察。

2. ベトナム概要

国土 32万9,421平方キロメートル

人口 9,250万人

民族 キン族(86%)

言語 ベトナム語

宗教 仏教、カトリック、カオダイ教

政治体制 社会主義共和国

元首 チュオン・タン・サン国家主席

経済

主要産業 農林水産業、鉱業、軽工業

名目GDP 1,878億ドル

1人あたりGDP 2,073米ドル

実質GDP成長率 5.98%

失業率 2.08%

総貿易額

輸入： 1,501.9億ドル

輸出： 1,480.5億ドル

主要貿易品目

輸出： 携帯電話、同部品、縫製品、PC、電子機器、同部品、履き物、水産品等

輸出： 機械設備、同部品、PC、電子機器、同部品、布地、携帯電話、同部品、鉄鋼

主要貿易相手国

輸出： 米国、中国、日本、韓国、香港

輸入： 中国、韓国、日本、台湾、タイ

他サイト引用

3. 詳細報告

- (1) ジェトロ、ベトナム投資環境説明会 (ジェトロ・ハノイ事務所)
(講師 海外投資 / 経済連携促進アドバイザー 細野 次郎氏)

ベトナム経済概況において、依然輸出加工型製造業が堅調で日本企業の数多くも安価な労働力を活用、進出している。

しかし近年に於いて日本企業進出に変化の兆しが現れてきている。
ここ最近の円安の影響を受け、委託加工のメリットも減少し進出企業も減少傾向である。

国内の内需関連産業では2輪（バイク）中心で取り分けヤマハ、ホンダの部品生産が目立ち4輪（自動車）は1部富裕層が購入するのみで需要は少ない。

年間出荷台数 (日本メーカーおおよそ)

2輪 ヤマハ：100万台
ホンダ：200万台

4輪 トヨタ：3~5万台
ホンダ：5000台

その他、複合機（キャノン、京セラ、ミタ）等

ベトナムでは労働集約産業が主体で組み立て部品の90%を輸入部品に依存している。

今のベトナムの社会インフラや経済レベル、労働環境は2000年頃の中国と似ており内情も賄賂社会であり、市街店舗では偽物が横行している。

違法であっても金銭で入手できるものが多い。

日本企業進出に至っては多くの企業が「黄金の3条件」でリスク軽減

- ① 輸出加工型 : 輸出加工、日系企業向けビジネスで収益基盤確立。
- ② 100%外資 : 合弁は時間がかかり、トラブルが多い。
- ③ 工業団地内立地 : 一般の土地はトラブルが多い

以上の点を踏まえて検討するのが望ましい。

(2) KYOEI MANUFACTURING VIETNAM CO.,LTD.

面談 山田 益也氏 (Deputy General Director)

会社概要

- ・ 日系子会社、出資 (株式会社 協栄製作所)
- ・ 創業 13 年 資本金 500 万ドル
- ・ 売上は 2700 万ドル程度、国内販売 70% 輸出 30%
- ・ 従業員数 1120 名 (基本的に全社員が正規雇用) 日本人スタッフ 6 名
- ・ 保有設備 37 台 (60~300ton)
- ・ 金型は自社設計、外注加工である

主な取引先としてトヨタ、ホンダが 7 割ほどを占め、その他にMBK、ブリヂストン等がある。

- ・ 生産のメインとしてはバイクフレーム製作 (アッセンブル、パイプヴェンダー加工) 単発プレスライン加工、塗装等々。
- ・ 各作業員共に指導員の教育が行き届いており、金型メンテナンスにおいても、技術要員が充実している。
- ・ 初任給は 20000 円 (JPY) ほどで社員の定着率は低く離職率は 10~15%ある。

山田 益也氏所見

- ・ 社員の給与コントロールも難しく、食事にも神経を使う。
- ・ 役所には申請等々の便宜を図るための潤滑油として賄賂授受がごく普通。
- ・ 基本夫婦共働きで 40000 円の収入がないと養育環境が確保できない。
- ・ 仕入れ品の品質が安定しないために QA が多数必要

(3) MINH QUANG INDUSTRIAL AND TRADE CO.,LTD.

面談 Mr. LE MINH GIANG (General Director)

Mr. PHAM VAN CHIEN (Production Director)

Mr. NGUYEN DUC THU (Purchasing Manager)

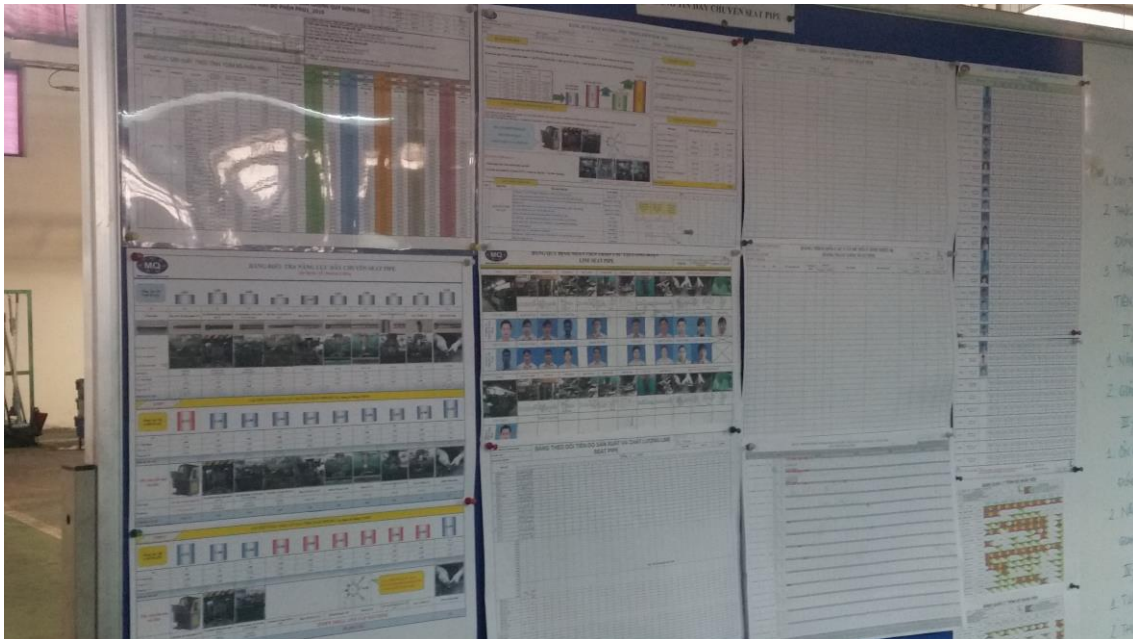
Mr. OGAWA TAKANORI (Technical Advisor)

会社概要

- ・ 現地ローカル企業
- ・ 2004年設立 資本金 150万 US ドル
- ・ 従業員数 140名 (2シフト)
- ・ 保有設備 (プレス) 6台
- ・ 主な取引先 ヤマハ、ホンダ、ショウワ、KYB、TOTO、イハラ他
- ・ 業務内容 パイプ加工、プレスライン加工、ショックアブソーバー・クラッチ部品のアッセンブリー、水回りブラケット部品

ローカル企業ではあるが、アドバイザーとして日本人が在籍しており、管理方式、社内基幹整備は日本の中小企業と同等レベルには達している。

5S活動も B/A シート、スキルマップ等を活用し作業員の意識も高い



(4) Chiyoda Vietnam co.,LTD

Vietnam precision mechanical,service & trading co.,ltd

面談 佐々木 孝明氏 (Factory Manager)

Mr. NGUYEN XUAN HUY(VPMS Director)

会社概要 (CHYODA)

- ・ 日系 100%外資企業 本社 愛知県 (チヨダ工業株式会社)
- ・ 設立 9 年 資本金 10 万 U S ドル
- ・ 従業員数 18 名 (日本人スタッフ 1 名)
- ・ 主な取引先 トヨタ関連企業 (間接)
- ・ 業務内容 金型製作がメイン (設計は日本) その他 2 輪部品少々。

主にチヨダ本社向けの構成部品をベトナム子会社にて製作。

社員の福利厚生、食事を重視している。

簡単な生産は中国に劣るが、精密な部品に関しては有利である。

会社概要(VPMS)

- ・ ローカル企業
- ・ (Chiyoda Vietnam) の協力会社



(5) MANH QUANG MECHANICS CO.,LTD

面談 Mr. NGUYEN MANH QUANG(Chief Production Officer)
Mr. HA SI THANH (Vice President)

会社概要

- ・現地ローカル企業 設立 30 年
- ・業務内容 金型から製品までの一貫生産。
- ・主な製品 2 輪関連部品 (ギア、スプロケット等)

日本に比べて技術面で劣り、諸々の設備、企業理念が古いという認識がある。

日本企業との取引を切望している。

(6) 3A MECHANIC CO.,LTD / DAI DUONG CO.,LTD

面談 Mr. VU DINH TUYEN (3A)
Mr. NGUYEN BAO SOI (DAI DUONG)

会社概要

- ・現地ローカル企業
- ・設立 1972 年
- ・従業員数 およそ 100 名
- ・設備 日本、ロシア、ブルガリアなど各国の中古品を流用。
(整備は自社整備、外部依頼併用)
- ・業務内容 旋盤加工などの引き物がメイン。
- ・製品 発電所構成部品、水利 (水道管) プラント事業、トラック部品
(比較的に精度を要しない製品のみを扱う)
- ・主な取引先 国内 7 割 韓国 3 割
- ・社員給与体系 20000 円~35000 円 (JPY)

社内環境に至っては 5 S に対する認識は無いに等しく、安全意識は低い。
作業員の作業服にも乱れが目立つ。(素足、スリッパ、半裸)

ご多分にもれず、日本企業との取引を希望している。

(7) THANG LONG METAL WARES JOINT STOK CO.,LTD

面談 Mr. PHAN HUU HUNG
Mr. PHAN HUONG THANH
Mr. LE CHI LIEN
Mr. KODAMA HIROSI

会社概要

- ・ベトナム国営企業
- ・1969年4月13日設立 2004年国営化
- ・主要取引先 ベトナムホンダ、IKEA
- ・従業員数 2100名
- ・住居、商業ビルも所有
- ・業務内容 順送プレス加工、ヴェンダー加工、塗装、CNC加工、洗浄、鍛圧加工、スポット溶接等々
- ・主製品 ハンガー、バイクマフラー、EU向けIKEA製品諸々....
- ・社員教育に関してはマニュアルがあり、昇級試験、ランク試験も用意されている。
- ・従業員の平均年齢は32歳。
- ・技術者の定着率は高く退職は少ない。(技術者は給与面で優遇されている)
- ・給与 一般ワーカー25000円：技術者35000円(JPY)

会社外観、作業服共に風水にて黄色に統一されている。

日本との取引を強く希望している。

ベトナムレポートは以上。

所見として....

グローバル企業として様々な道を切り開く日本企業の地道な努力と逞しさを実感した。

またベトナムも中国のように経済成長を遂げるのを確信した。

ベトナム視察ミッション 報告

平成 28 年 3 月 8 日
大阪美鋳工業株式会社
営業部主任 齊藤 雅史

日時 : 平成 28 年 3 月 2 日 (水) ~ 3 月 5 日 (土)

場所 : ベトナム ハノイ市

3/2 ① JETRO ハノイ事務所

3/3 ① KYOEI MANUFACTURING VIETNAM CO, LTD

② MINH QUANG INDUSTRIAL AND TRADE CO, LTD

③ CHIYODA PRESS DIE/VPMS

3/4 ① MANH QUANG CO,LTD

② 3A MECHANICAL COMPANY LIMITED

③ THANG LONG METAL WARES JOINT STOCK COMPANY

《 主な内容 》

3 月 2 日 (水) PM

JETRO ハノイ事務所

細田様

ベトナムに入国後、市内の JETRO ハノイ事務所を訪問。
ベトナムの投資状況・現状についての話を細田様より伺う。

四輪はトヨタが 3~5 万(年間)、ホンダが 5 千台(年間)の生産であり、部品を作らずに組立のみを行う労働集約型輸出産業がメインである。

二輪はホンダが多く、部品製造から組立までを行う労働集約型産業である。

二輪用のプレスが 2005 年から生産が増加しており、100 社くらいある。

(スリッターからプレス、溶接まで)

北部では 1500 t プレス(ホンダ所有)が最高で、200 t がメインである。樹脂の射出成形機は 120 t からで小振りがメイン。

課題としては、大分改善されてきているが、労働基準法等の法律がまだまだ整備されていない。契約を守らない、お金がなければ払わない、賄賂が横行などが現状である。

また、労務費以外が高い、資材の現地調達が厳しく、内需が貧弱であるという点などでメリットが少なく、最近では人材育成関係 (IT/技能実習生 等) が増えている。

ベトナム人は労働者として使うには最適であるが、ビジネスベースで見たらなかなか難しいと思われるとのことである。

3月3日(水) AM

KYOEI MANUFACTURING VIETNAM CO, LTD

山田様

ノイバイ工業地域で2003年6月設立し、現在1120名(内156名女性/日本人6名)である。ベトナム国内で7割の売上げ(ヤマハモーターベトナム向け)、残り3割が日本のKYOEI本社(愛知)向けやアメリカのヤマハモーター、タイのブリジストン等である。

オートバイのフレームをメインに製造しており、材料の仕入先はハノイスチールや丸一鋼管である。また、部品仕入れ先は会社より30km圏内である。

板厚が薄いもので2mm、絞りは2mm/2.5mm/3.2mmを使用している。

バイク部品は客先要望の公差は厳しくないが、公差が厳しい弱電関係は苦手とのこと。

KYOEI社内で金型製作・金型メンテ・治具・溶接が出来る。金型は社内で設計し、外注で部品を作成、社内で金型組立を行っており、年200面ほどされている。

第2工場ではバギー車の脚回り部品を30万SET/年生産しており、カチオン電着後、梱包出荷している。

また、四輪の脚回り部品を開発し、プレス、溶接等を行って出荷しており、以前TOYOTAにも売り込みをかけたがベトナムから購入するメリットが無いと言う事で断られたとのことである。

安全面では日本の本社と同じ設備・レベルを維持するようにしているとのこと。

○バイクの脚回り部品



○絞りもの



3月3日(水) AM

MINH QUANG INDUSTRIAL AND TRADE CO, LTD

Le Minh Giang 様 他3名

メインはバイク部品の製造(ヤマハ向け)であり、設立当初は切削加工がメインだったが、パイプ加工等を行うようになっている。

従業員は現在140名であり、2SHIFT体制で生産を行う。

日本人の小川様がアドバイザーをしており、管理方法、品質方針、社員教育に関して日本基準に近づくよう努力されておりました。

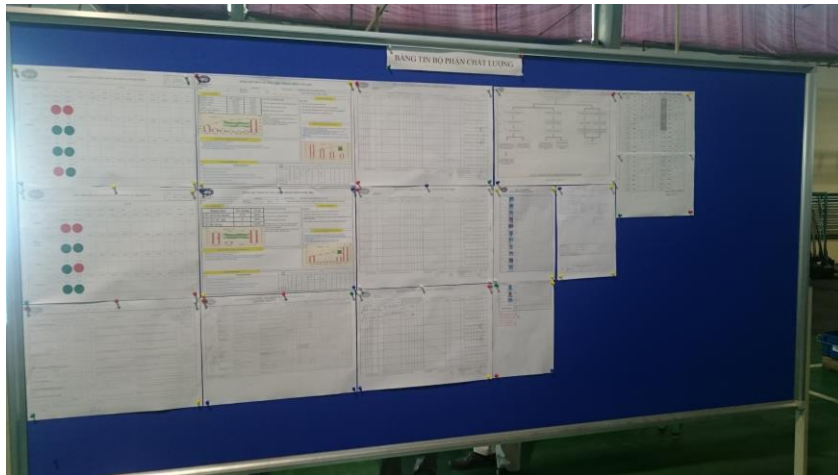
○MINH QUANG INDUSTRIAL AND TRADE CO, LTD 取扱い商品



○作業風景



○ MINH QUANG INDUSTRIAL AND TRADE CO, LTD の目標管理の掲示



○ 5S の掲示



3月3日（水）PM

CHIYODA PRESS DIE 佐々木様 /VPMS NGUYEN 様

CHIYODA PRESS DIE にて金型製作 VPMS にて金型加工。

設立9年目であり金型作成や、部品を加工し輸出している。

主にトヨタや豊田紡織などの自動車関係の金型の仕事をされている。

治具の作成からスタートし、バイク部品の溶接・検査・組立治具を作成。

プラスチック金型、亜鉛型も手がけており、Panasonic 向けの洗濯機や サムスン、
キャノン、ホンダ等の実績が有る。

○ 工場風景



3月4日(水) AM

Manh Quang Company Limited

Nguyen Manh Quang 様 他

ホンダのバイク部品をメインにしており、創業30年である。15年ほど前に工業化し今に至る。

社内でプレス品、クロケットホイール、スプロケット、歯車などの商品を材料カットからプレス加工(25tから800t)、熱処理、溶接、メッキ、研磨など、多いもので20工程になるものなどを一貫生産している。

ベトナム国内63社に商品供給しており、2008年からは精密部品のOEMに対応。また、ISO、JIS規格に基づいた測定管理をしているとの事。

今回は残念ですが、守秘義務という事で工場見学はさせてもらえませんでした。

○ Manh Quang Company Limited 取扱い商品



3月4日(水) AM

CONG TY TNHH CO DIEN DAI DUONG SOI 様
3A MECHANIC COMPANY LIMITED Tuyen 様

1997年設立。旋盤・研磨を中心に加工。

工場内の機械は旧ソ連圏製及び日本の中古品を中心に購入しており、故障した場合は、自分で直せる箇所は自分で直している。

品目としては、水利工事(農業関係)、発電、鉱山関係の商品を製造。生製品の7割は、ベトナム国内に納品し、3割は韓国に出荷しているとの事。

最近ではトラック関係、ギヤーBOX等もされている。

○ 工場風景





*③で加工した商品



3月4日(水) PM

THANG LONG METAL WARES JOINT STOCK COMPANY

PHAM HONG THANH 様 他

2100名(スタッフ420名/作業者1680名)もの規模の国営企業であり、ホンダを顧客にし、金型設計・加工・金属部品加工などし、国内外に販売されている
主な加工として、プレス加工(Max 1000 t ~ Min 10 t)自動機・単発/溶接
表面処理(塗装加工・亜鉛メッキ・クロムメッキ) /バンダー加工/研磨などを行っている

工場の主な内訳は、

- ・第1工場ではIKEA向けの製品加工をしている。600名
訪問時はヨーロッパのIKEA向けにランタン、ハンガーを製造。
- ・第2工場では金型設備加工 200名
- ・第3工場では、ホンダ向けのバイク部品加工 900名
- ・第6工場では、国内販売部品加工(スプーン/鍋 等) 200名
- ・第5工場はホーチミン 250名

○ 単発プレス



○ 単発作業風景



○LIXIL 向け部材の研磨作業



○ IKEA (ヨーロッパ) 向けランタンのアッセンブル



○ 5Sの掲示板



まとめとして

(一社)大阪金属プレス工業会 ベトナム海外視察ミッションに参加致しました事につきまして、感想を述べさせていただきたいと思えます。

今回、3月2日から3月4日にわたってベトナム国内の企業を6社見学させていただきましたが、どこも個性あふれた企業様であり、異なる性格を持った企業様を6社も見学出来たことは、個人的には大変有意義な視察であったと思っております。

また、初日にJETROの細田様よりベトナム事情(経済や国民性など)について詳しくご教授いただいたことも、今回の視察中に大変参考になったことは言うまでもありません。

さて、私がこの視察において印象に残っていることとしまして、

- ① MINH QUANG INDUSTRIAL AND TRADE CO, LTD 社様の目標管理及び5Sの活動などを徹底して行っていること
(文章はベトナム語なので読めませんでしたが、5Sの評価の仕方は参考になりました)
- ② THANG LONG METAL WARES JOINT STOCK COMPANY 社様の工場の規模、一貫生産ライン【IKEA向けのランタンのプレス加工から溶接、塗装、組立梱包ライン】を順番追って見学できたこと
(特にランタンの窓枠の溶接、プレス、組立が良く考えられていると思いました。)
- ③ CONG TY TNHH CO DIEN DAI DUONG 社様の年代物の切削加工機械
(弊社の機械も大概古いですが、それを上回る古さの機械で発電関係などの部品を製造しているのに驚きました)
- ④ KYOEI MANUFACTURING VIETNAM CO, LTD 社様をはじめとする単発プレスをお持ちの企業様の加工方法
(単発加工時に製品をエアで飛ばさず、作業者が手を突っ込んで製品を取っていたのが危なっかしく思われました。)
- ⑤ CHIYODA PRESS DIE/VPMS 社様の金型加工技術
(特にVPMS社のNGUYEN様にsympathyを感じました。)
- ⑥ Manh Quang Company Limited 社様の高いと思われる技術力
(縁なく工場見学が出来ませんでしたが、VTR、商品陳列棚をみる限り高そうに思いました。)

以上を挙げます。

今回の視察企業6社中4社に日本人の方がスタッフとして参加されていましたが、日系企業という点を差し引いても、例外なく目標管理なり5Sなりがきちんとされていると思われました。

また、今回一緒に同行させていただきました6社7名の大阪金属プレス工業会ベトナム海外視察ミッションのメンバー皆様の仕事に対する考え方を拝聴致しまして、今後の参考にさせていただきたいと思えました。

以上でまとめを終わりにさせていただきます。

ベトナム現地視察ミッション参加報告書

参加者 盛 博文
日時 2016年3月2日～5日

訪問先① JETRO ハノイ事務所

担当者 細野 次郎氏

- ベトナムの概況説明
- 首都はハノイ
 - 最大都市はホーチミン
 - 面積346,410km²
 - 人口9,040万人
 - 社会主義共和制でベトナム共産党による一党独裁
 - 2013年をピークに製造業の進出数減少
 - 人件費は中国の44%
 - 法整備が遅れている
 - 土地が東京並みに高い
 - 高いリベート・賄賂
 - 市場での製品の中には不正輸入品/偽造・模造品/横流し品が氾濫
 - 製造業は2輪車産業中心にプリンター組立て等
 - 2輪車はホンダ向け200万台、ヤマハ向け100万台
 - 部品を輸入し、組立する労働集約型産業

訪問先② KYOEI MANUFACTURING VIETNAM CO.,LTD.

担当者 山田 益也氏

- 会社の概況
- 「株式会社 協栄製作所」の子会社
 - 2003年6月設立
 - 従業員数1120名
 - ヤマハ・トヨタ向けが70% その他ヤマハアメリカ、フランスヤマハ等
 - 売上は2600万ドル、2013年がピーク
 - 材料購買は住友金属・丸一鋼管・住友鋼管等
 - 保有プレスは30台、パイプベンダー9台、ロボット溶接73台
 - 金型は自社設計～部品調達～組立て
 - 社員教育が行き届いている

訪問先③ MINH QUANG INDUSTRIAL AND TRADE CO.,LTD

担当者 Mr.LE MINH GIANG
Mr.PHAM VAN CHIEN
Mr.NGUYEN DUC THU
Mr.OGAWA TAKANORI

- 会社の概況
- ベトナムローカル企業
 - 2004年5月設立
 - 従業員数140名
 - SYOWA・KYB・TOTO・ホンダ等日本企業と取引

- 売上は240万ドル(2013年)
- 切削加工からプレス加工まで展開
- 管理手法は日本の工場と同じで5S・改善活動活発
- 作業標準～検査基準書まで整備している
- 日本語カタログが準備され、日本企業との取引に積極的

訪問先④ CHIYODA VIETNAM CO.,LTD

担当者 佐々木 孝明氏

会社の概況

- 「チヨダ工業株式会社」の子会社
- 2006年設立
- 従業員数18名
- トヨタ関連の金型設計～製作、日本へ
- 主な設備は日本製

訪問先④ VPMS

担当者 Mr.NGUYEN XUAN HUY

会社の概況

- ベトナムローカル企業
- 2006年7月設立
- 2011年にチヨダベトナムとタックタッチ工業団地にプレス工場設立
- 2015年よりチヨダベトナムとともにTong Tho工業団地へ移設
- 電機加工機を保有し、電極も社内製作している
- 金型の設計製作、各治具の設計製作、量産部品加工まで手掛ける

訪問先⑤ MANH QUANG MECHANICS CO.,LTD

担当者 Mr.NGUYEN MANH QUANG
Mr.HA SI THANH

会社の概況

- ベトナムローカル企業
- 1983年設立
- バイク部品製造
- 工場見学不可

訪問先⑥ 3A MECHANIC CO.,LTD
DAI DUONG CO.,LTD

担当者 Mr.VU DINH TUYEN
Mr.NGUYEN BAO SOI

会社の概況

- ベトナムローカル企業
- 1997年設立
- 業界問わず、切削加工の企業
- 設備は30年以上前の汎用機が殆ど
- ソ連、台湾製を中心に日立、森精機製のNC旋盤4台保有
- 40年前の日本の鉄工所のイメージ
- 品質保証体制は整備されていない

訪問先⑦

THANG LONG METAL WARES JOINT STOK CO.,LTD

担当者

Mr.PHAN HUU HUNG
Mr.PHAN HONG THANH
Mr.LE CHI LIEN
Mr.KODAMA HIROSHI

会社の概況

- ベトナム国営企業
- 1969年設立、2004年国有化、2008年上場 66%を国が保有
- 売上は4500万ドル
- 従業員2100名(スタッフ420名、作業者1680名)
- ベトナムホンダが最大の客先であり、敷地内に合弁会社がある
- 日本企業との取引多数
- 第1工場 600名 IKEA向け製品加工 100万ロール/月
- 第2工場 200名 金型・設備加工
- 第3工場 900名 ホンダの部品加工 200万ロール/月
- 第6工場 200名 国内販売部品加工
- 第5工場 250名 ホーチミン
- 全工場で103,500㎡
- 安全・管理面とも国内企業と遜色無し
- 等級制度採用し昇給している

以上

打合せ 出張報告 連絡

件名 大阪金属プレス工業会ベトナム視察報告				宛先（回答依頼先）	
出席者 7社8名（別紙添付）				配布、回覧先 モ ⇒ カ	
発行部署 承認				場所（出張先） 【ベトナム：ハノイ】 JETRO（ジェットロ）、 サプライヤー（日系、ローカル）6	
（発行者） 片山				16年3月2日 日時 ~ 3月5日	

目的 世界規模で広がるグローバル化に向けて、大阪金属プレス工業会は、ベトナム（ハノイ）の独立行政法人日本貿易振興機構（JETRO：ジェットロ）、サプライヤー6社（日系、ローカル）の企業訪問を行い視野を広げる。				回答指示、意見質問	
所感 1 初日に、ハノイの独立行政法人日本貿易振興機構（JETRO：ジェットロ）を訪問したことで、ベトナムの企業経営資源である「ヒト、モノ、カネ、情報」の概要を知ることが出来た。「モノ」や「カネ」・「情報」は、「ヒト」が動かすことによって初めて意味をなす経営資源であるゆえに、後日の企業訪問に非常に参考になった。				〔別紙添付〕	
2 人口は世界14位（日本10位）、国民平均年齢は、27才（日本45才）と若く、実感的にも活気を感じた。しかし、政府は「家族計画化」政策（二人っ子政策）を行っているため、20～30年後は少子高齢社会を迎えることとなる。 ワーカー賃金（高卒）は、20～35k ¥ / 月とのことであるが、基本給は毎年10%以上のアップを義務つけられており、昨年に13%ベースアップした企業もあり、人件費は、5～7年後には他の進んだアセアン諸国の固定費に追いつくと推測される。				人口：約9250万人	
3 ハノイ市内の公共交通機関に電車（地下鉄含む）が無く、自動二輪車が主な交通機関となっており、自動二輪車は飽和状態であった。市場は四輪自動車へと移りつつあり、部品メーカーも自動車部品製作のため、設備機械の大型化への投資を検討されているようであった。					
4 今回視察のサプライヤーは、部品製作会社が多く（自動二輪部品）、ほとんどが輸出であった（輸出加工型製造業）。また、自動車業界の現地工場はなく、タイ・インドネシア・韓国・中国から完成車を輸入し、現地には販社（サービス含む）の展開を行っている。その背景にはベトナム政府の国内生産を保護する政策・法令等（公平で透明性の高い社会経済制度が成立していない）がなく、ベトナムへの工場進出は行われていない。現状のベトナムは、グローバルでの完成品生産拠点、あるいは完成品輸出拠点としての候補国に成りにくいと思われる。 2016年以降にアセアン経済共同体（AEC）がスタートし、どの程度地域内の物流が活発化するか、どの程度ボーダレスに人の移動が自由になるのか、というさまざまな要素が見えてこないことには検討は始まらない。これらが具体的になり、取り組みが本格化するのには、サプライチェーンの変化が顕在化する2020年頃が一つの目安になると考えられる。					
5 単独で海外進出するには、現地事情把握はもとより、パートナーと経営資源を担うヒト・モノ・カネ・情報の個々の力量が必要で、特に、各国ともにスタッフ確保に苦労されているようである。そのためには、風俗、習慣、宗教、法令、ステークホルダーの評価など、対応が出来る現地優良パートナーの必要性和重要性を感じた。					

視察先

回答指示、意見質問

1 3月2日〔ハノイ:独立行政法人日本貿易振興機構(JETRO:ジェトロ)〕

面談者:海外投資/経済連携促進アドバイザー 細野 次郎 様

説明資料:『日本企業の投資動向 投資アドバイザー業務を通じて感じたこと』



2 3月3日〔ハノイ:1、KYOEI MANUFACTURING VIETNAM CO.,LTD

2、MINH QUANG TRADING & INDUSTRIES COMPANY LIMITED

3、CHIYODA VIETNAM CO.,LTD

1)KYOEI MANUFACTURING VIETNAM CO.,LTD (工場内撮影禁止)

設立:2001年6月 資本金:5000 kUS\$ 売上高:27300 kUS\$ (2015年)

社員数:1120名

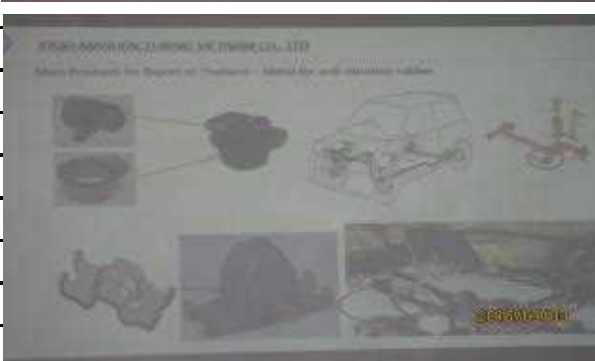
主要取引先:ヤマハ、トヨタ、MBKプリジストン

事業内容:バイク部品(パイプ加工、機械加工、溶接加工品)

面談者:山田 益也 様(Deputy General Director)



自動二輪部品



自動車部品

2)MINH QUANG TRADING & INDUSTRIES COMPANY LIMITED

回答指示、意見質問

設立:2004年

主要取引先:(株)ショーフ

KYB(株)

資本金:1500 kUS\$

(株)エフ・シー・シー

TOTO(株)

社員数:140名

(株)三ツ星製作所

(株)イハラ製作所

就業時間:2シフト

(ベトナム内外)

本田フリップ

事業内容:バイク部品(パイプ加工、機械加工品)

面談者:LE MINH GIANG 様(General Director),PHAM VANCHIEN 様(Production Director)

NGUYEN DUC THU 様(Purchasing Manager),OGAWA TAKANORI 様(Technical Advisor)



製品サンプルボード



CNC旋盤加工



パイプ自動切断機



プレス加工



金型製作室



精密検査室 (3次元計測、表面粗さ計測)



方針管理掲示



5S活動掲示

3-1)CHIYODA VIETNAM CO.,LTD (工場内撮影禁止)

回答指示、意見質問

面談者:佐々木 孝明 様(Factory Manager)

3-2)Vietnam precision mechanical,service & trading co.ltd (VPMS) (工場内撮影禁止)

事業内容:金型(プレス、アルミダイキャスト、INJ、溶接治具) ※ INJはシボ加工技術保有

面談者:NGUYEN XUAN HUY 様(Director)



設立:2007年6月 社員数:18名

設立:2006年7月 社員数:180名

プレス金型製作会社(CHIYODA)

ダイキャスト、INJ、プレス金型、溶接治具 製作会社(VPMS)



2月3日[ハノイ:1.Manh Quang Company

2.3A MECHANIC COMPANY LIMITED

3.Thang long metal wares JSC

1)Manh Quang Company (工場見学NG:ドタキャン)

会社概要は企業イメージDVDのため説明なし

2001年 民営化

面談者:Nguyen Manh Quang 様(Production Officer),Ha Si Thanh 様(Vice President)

バイク部品製作:プレス、機械加工、熱処理、

2-1)3A MECHANIC COMPANY LIMITED

面談者:VuDinh Tuyen 様

2-2)DAI DUONG

2-1)社と共同事業 設立:1997年 社員数:100名

取引先:70%国内 30%(韓国)

設備:ロシア製、ブルガリア製、日本製 (中古品)

事業内容:鉱山、発電所、水利工事管加工

面談者:NGUYEN BAO SOI 様





工場入口風景



ネジ加工機(ロシア製)



縦型旋盤(ロシア製)



縦型旋盤(ロシア製)



ブルガリア製旋盤



日立精機 NC旋盤

3) Thang long metal wares JSC

設立: 1969年6月

ハノイ所有株 66%

社員数: 2200名(平均年齢: 32才)

設備機械: 283台

事業内容: 海外向け金属家庭用品、金型、バイクの部品、国内用金属家庭用品

設立: 第一工場 20000m² 600名 ヨーロッパ向け輸出品生産工場

第二工場 10000m² 200名 金型製造工場

第三工場 22000m² バイク部品生産工場

第四工場 8000m² 国内家庭用品生産工場

第五工場 40000m² 250名

第六工場 8000m² 200名 国内家庭用品生産工場

商業ビル 3800m²

面談者: PHAM HUU HUNG 様(Chairman)、PHAM HONG THANH 様(General Director)

LE CHI LIEM 様(Vice General Director)、KODAMA HIROSHI 様(Factory Director)



自社製品サンプル棚

1000Tプレスライン

プレスライン



プレスライン

プレスライン

生産管理表示盤



ロボット溶接ライン

NC旋盤ライン

3次元測定室



ハンガー

ランタン組立作業手順書(ヨーロッパ向け)

以上

【はじめに】

私にとって初の海外研修でしたが、現地で直接見て肌で感じる事で刺激を受け、3日間という短い時間でしたが、中身の充実した貴重な経験をさせて頂きました。

まず、大阪金属プレス工業会の皆様におかれましては、同行させて頂き、様々な視点から沢山のご教授を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、私自身、業務で海外に行った事は1度も無かったので、今回が初めての経験となりました。

正直、視察前のベトナム工場の印象としては、数十年前の日本の工場のイメージを持っておりましてので、その中でどの様な工夫をしてもものづくりをしているのかなといった感じで視察を行いました。

しかし、日系企業・ローカル企業を含めた6社の工場を見学させて頂いた事で、私が想像していた以上にベトナムのものづくりに対する情熱を感じる事が出来ました。

ものづくりに対する情熱が会社全体に浸透していて、作業者の動きを見ていると皆が一生懸命働いているし、それが工場を見た時にパツと雰囲気として出てくるものなんだと思いました。

殆どの工場ではトップ自らが現地視察を行い、問題点を社員と共有し、会社方針がしっかりと社員へ展開され、それに向けた取り組みが行われ、そこに工場の2S状態や社員教育や品質、安全がしっかりと付随していた。これらの事は現場を見た時に日本でもベトナムでも出来ている会社は出来ているし、出来ていない会社は出来ていないという事がよくわかりました。

ベトナムの人口は9,250万人で、アセアン第3位の人口を抱え、平均年齢は27歳の若さでとパワーで物凄い勢いで発展していている。日本の平均年齢が46歳なのでベトナムはとても将来性に溢れている。

さらに安いコストでここまでできている工場があるのであれば、弊社なんかは既に追い抜かれているなど、脅威に思え、私自身がまだまだ井の中の蛙で未熟者だったんだなど、そういった刺激を肌で感じる事が出来ましたし、とても参考にする事が出来ました。

【ベトナムでのビジネスの難しさ】

街中を見てみると、無数のバイクと多くの超高級車が入り混じって走行しており、道路を見るだけで、貧困の差がよくわかります。まだまだ交通整備が出来ておらず、逆走・信号無視・歩道走行は当たり前で無法地帯になっており、ベトナムでは赤信号は『止まれ』ではなく『警官がいな事を確認して進め』だそうで、警官に捕まると賄賂を要求され、罰金より賄賂の方が安いので、皆払ってしまうような。

ベトナムの初任給は日本国で2万円程だそうです、国家の治安を守る警官ですら給料+賄賂で生計を立てており、これがベトナムの文化なんだという事を知りました。

この賄賂というものが、ベトナムではごく当たり前の事で、ベトナムでビジネスをしていく上で賄賂は避けて通れない存在だそうです。日本人の性格が世界から嫌がられる中に、ハッキリと『YES』『NO』と言わず検討します、考えますと言うなど、外国人からはめんどくさがられるそうで、この辺は海外からは理解されないそうですので、真面目な性格の日本人にとっては、こういった難しい課題があるのだろうなと感じました。

【工場見学について所感】

KYOEI MANUFACTURING VIETNAM CO.,LTD 3/3(火) 8:30～

印象深いのは、工場内で従業員の方から皆が元気よく挨拶してくれた事。(6社の中でもダントツ)

これは日本人の山田工場長トップ自らが、毎日現場で模範となるよう、声掛けをし、ゴミ拾いをしている、現地従業員とコミュニケーションをとっているとの事。

ベトナムでは従業員の定着率が悪く、全て正社員だが年10%程辞めていくので、給料コントロール等、こういった活動に力を入れている。

信頼できるリーダー教育がカギで、人材育成に力を入れている。

プレス加工単価は1パンチ1.5円程度

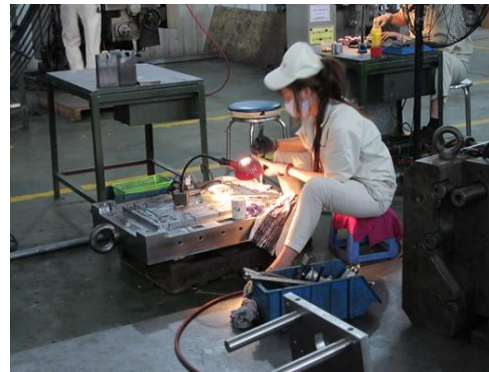
MINH QUONG INDUSTRIAL AND TRADE CO.,LTD 3/3(水) 10:30～

日本的なQC活動、品質管理、2S、安全等の取り組み内容を事細かに現場で見える化されており、作業工程においても、作業者の教育レベルや標準作業書類も整備されており、とても綺麗な工場でした。



【CHIYODA VIETNAM CO.,LTD & VPMS】 3/3(水) 14:15～

金型制作会社という事で、金型に関する知識等は日本で研修したりしている。従業員の定着を高める為、昼食を食べ放題にする等、福利厚生を充実を図っている。電子機器の部品では、オムロン製等は偽物が多く出回っており、注意を図っている。



【MANH QUANG MECHANICS CO.,LTD】 3/4(木) 9:00～

急遽、会社方針で工場見学不可となったとの事・・・残念。



【DAI DUONG CO.,LTD】3/4(金) 10:00～

大昔の製造工場の様な印象。

殆がが昭和30～50年代の日本とロシア製の設備で、メンテナンスは自社で管理。

衝撃だったのは、殆どの作業者が裸足にスリッパだったのだが、中でも切り子が出ているボール番の上に足を置いていて、上を見上げると大々的に『労働災害を無くそう』と横断幕が掲げられていた。

社長曰く、皆あまりルールを守らないそう。



【THANG LONG METAL WARES JOINT STOCK COMPANY】3/4(金) 13:20～

6社の中では1番大きい会社 従業員数 全体で2,100名

現場では日本人の方が改善提案しており、作業現場の効率化に向けて様々な活動がなされていた。

特にプレス機周辺のレイアウト等は、先入れ先出し・2S等も出来ており、効率の良いレイアウトになっていて、弊社と比べても非常に参考になった。



【最後に】

今回のベトナム・ハノイ工場視察ツアーを企画頂いた、大阪金属プレス工業会の諸先生・諸先輩の皆様方、並びに旅行会社の皆様・そして現地で工場案内を頂きました方々、最初から最後まで大変お世話になりました。心より厚く御礼申し上げます。

以上